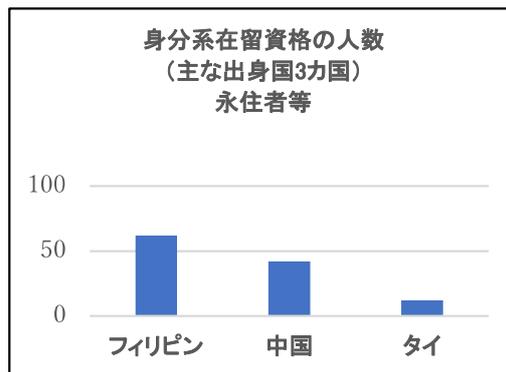
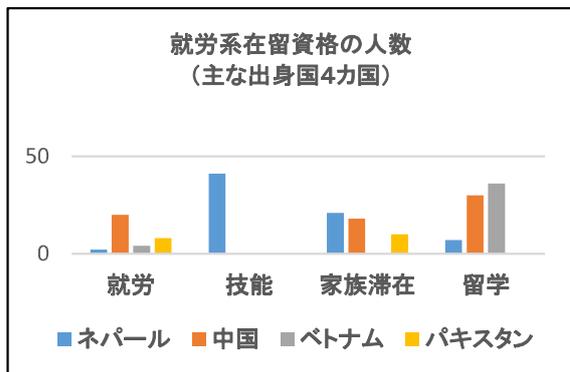


4. 在留資格

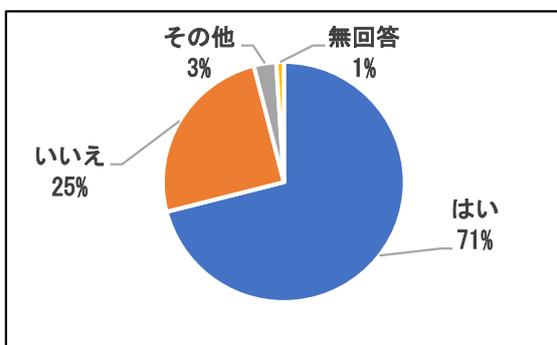


日本に住んでいる外国人にとって、「在留資格」は重要です。在留資格については、就労系（仕事や留学など本邦における活動に基づく在留資格）と身分系（日本人配偶者等や永住など、身分もしくは地位に基づく在留資格）の二つに分けて分析を行いました。就労時間の制限が前者にはあり、後者には基本的にありません。今回の調査では、就労系の主な出身国はネパール、中国、ベトナム、パキスタンで、身分系（永住等）の主な出身国は、フィリピン、中国、タイと分かれました。

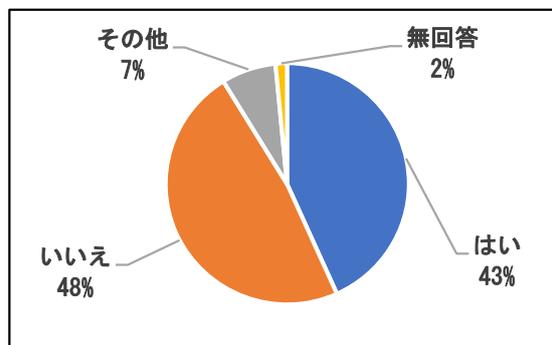
3. ワクチン接種に関する分析報告

調査票の『「COVID-19 ワクチン接種」について』は質問 1～質問 13 までありますが、ここでは主要な質問の結果について報告します。質問 1～質問 3 は、母国そして日本での医療経験について質問をしました。日本での医療経験についてみてみますと、日本で受診経験があるのは約 7 割（質問 2）、行きつけの病院がある（質問 3）のは約 4 割の人でした。

質問 2. 日本に来てから病院で診察を受けたことがありますか。



質問 3. 普段からよく行く病院がありましたか。



日本滞在歴の短い留学生は、日本での受診経験やよく行く病院がない割合が高かったです。また国によって病院での診療よりも薬局で薬を購入するほうが一般的であるなど、母国での受診に関する経験にも差があることが分かりました。